

はじめに一本書のたのしみ方（地方史研究協議会会長 久保田昌希）

第1部 もう一つの世界から歴史を見る

- 1 海の領主忽那氏の海城警固（山内 譲）
- 2 竹からみた江戸時代（小林准士）
- 3 太平洋戦争下の箱根・熱海ツアー（松本洋幸）

第2部 こんなところからも歴史がみえるぞ！

- 4 沼津市霊山寺の梵鐘銘文を読む（厚地淳司）
- 5 慶長三年の常総国境争いをめぐる鉄火塚と鉄火棒
—伝説と史実の狭間—（栗原健一）
- 6 「島原の乱」関係史料との出会い（若山浩章）
- 7 石碑と石材から地域の歴史を読み解く
—岩手県内の近世石碑と墓石から—（兼平賢治）

第3部 いったい何者だったのか？

- 8 道親長者とは何者か
—東大寺のお水取りと伊賀一ノ井松明講の伝説—（渡邊浩貴）
- 9 墓石・系図・新出資料から読み解く漆垣貢人（桐生海正）
- 10 牧土とは何者か（高木謙一）

第4部 それでもしたたかに生きていく

- 11 伊達政宗を翻弄した大内定綱（佐藤貴浩）
- 12 庄屋「御用日記」から見た八戸藩の百姓一揆（三浦忠司）
- 13 地域をつなぐ商人の活動—館山町の他国出身商人—（宮坂 新）

第5部 かくして信仰は広がった

- 14 知られざる道元頂相—板行された頂相をめぐって—（長谷川幸一）
- 15 ザビエル来豊の経路と南蛮貿易港日出の姿（平井義人）
- 16 高野山への信仰と参詣の旅路（山下真理子）
- 17 『神社日誌』から読み解く祭りの変遷
—英彦山神社神幸祭の事例から—（須永 敬）

第6部 これからのアーカイブズの話しよう

- 18 武家の北海道移住とアーカイブズの移動
—亘理伊達家中村木孝英の近世・近代—（三野行徳）
- 19 在来木綿からタオルへ—加古川地方の産業史—（西向宏介）
- 20 高知の山奥までやってきた戦争
—高知県津野町口目ヶ市集落の『常会記録』を読む—（小幡 尚）

あとがき（萩谷良太）

ISBN978-4-86766-082-9 新書判・並製・272頁 定価：本体1,650円（税別）

文学通信

本書の詳細は、<https://bungaku-report.com/books/ISBN978-4-86766-082-9.html>

お問い合わせは、〒113-0022 東京都文京区千駄木 2-31-3 サンウッド文京千駄木フラッツ 1階 101

電話 03-5939-9027 FAX03-5939-9094

【特価ご案内】

お支払いは書籍に同封する郵便払込用紙をご利用下さい。

本紙にてお申込みくださった方には、1冊・1,750円（税込・送料込・手数料込み）で販売いたします。

注文書

『だから地方史研究はやめられない』を（ ）冊注文します

【申込み先】

メール●info@bungaku-report.com 電話●03-5939-9027

ファクス 03-5939-9094

チラシを見たとお伝えください。右下のQRコードでも承ります。（担当・田口）

【お届け先】

●ご住所 〒

●お名前

●電話番号



特価注文フォーム

だから
地方史研究は
やめられない

Series＝地方史はおもしろい07

お待ちせしました！
7冊目刊行！

